

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 竹の庵

作成日: 令和 元年 11 月 25 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	職員不足と利用者の重度化、高齢化に伴い、地域の行事や活動への参加が減少しているが、体制を整え、個別や少人数での参加、交流を試みる等工夫しながら、地域密着型事業所としての在り方に立ち返り、少しずつ取り組んでいく。	運営推進会議に、民生委員や地域で活動している有識者等に参加してもらい、会議の中で地域の課題や高齢者の問題について話し合う等、地域と共に高齢者に優しい街作りに取り組み、地域福祉の拠点を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	利用者の重度化や職員不足により、全員での外出が困難な状態である。個別での対応等、方法を工夫しながら、外出レクリエーションを企画し、利用者の気分転換を図っていく。	家族やボランティアの協力を得て、職員配置を工夫する等して、散歩や買い物、外食ができる体制を整え、ホームでの生活がメリハリの効いた楽しいものになるよう工夫していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。